

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	5	事業名	防災・安全交付金 (館山港海岸館山地区 海岸環境整備事業)		路線又は箇所名等	館山港海岸 館山地区				
事業所管課		港湾課		事業主体		千葉県				
事業化年度	平成5年度	用地着手年度	—		工事着手年度 工完了年度	平成6年～ 令和10年度	再評価の理由		再々評価	
費用便益比 B/C	8.6 (14.2)	総費用	111億円 (49億円)	総便益	959億円 (694億円)	基準年	令和 4年度	供用開始 年度	令和 11年度	

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

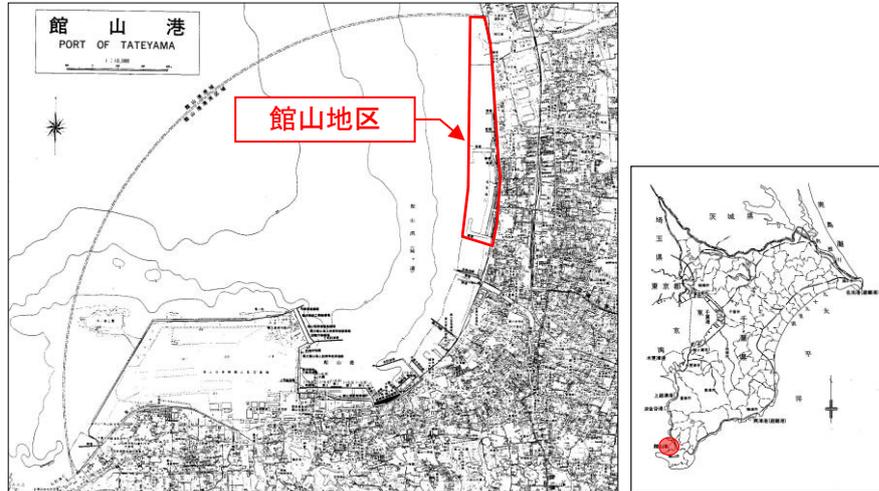
<p>【事業概要】</p> <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高潮・波浪による被害を防止するための海岸保全施設（面的防護：護岸、人工海浜、突堤）を整備する。 ・快適な海浜利用を促進するための施設（遊歩道、植栽）を整備する。 <p>(規模)</p> <p>突堤 : 4基</p> <p>護岸 : 1,580m</p> <p>人工海浜（養浜） : 50,000m³</p> <p>植栽 : 21,430m²</p> <p>遊歩道 : 19,270m²</p>														
<p>【事業の進捗状況】 (令和4年度末見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体計画</th> <th>投資事業費</th> <th>残事業費</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>78</td> <td>22</td> <td>56</td> <td>28%</td> </tr> </tbody> </table>						全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率	事業費(億円)	78	22	56	28%
	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率										
事業費(億円)	78	22	56	28%										
<p>【社会経済情勢等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当海岸の高潮・波浪による想定浸水地域は学校や大型商業施設等を含む人口密集地であり、事業を実施しない場合に想定される被害が大きい。 ・大規模な人工ビーチの整備を促進する「ビーチ利用促進モデル地区」として、平成5年度に国の指定を受け、平成6年度に整備を開始した。 ・東日本大震災を契機に、平成25年に海岸保全基本計画が見直され、事業を計画する際の目安として、当海岸では現計画の「高潮・波浪」を上回る「津波」に対する防護高が示された。 ・また、令和2年に国から新たな海岸保全基本方針が示されたことから、「平均海面水位の上昇量」や「潮位偏差・波浪の長期変化量」等の将来予測を考慮した防護高とするため、海岸保全基本計画を見直す必要が生じた。 														
<p>【対応方針（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山港海岸環境整備事業は、全体事業・残事業ともB/Cが1を超え、事業の投資効果が見込まれることから、高潮・波浪から生命・財産を防護するとともに海岸利用の増大を図るため、今後も事業を継続し、効果の早期発現を目指す。 ・海岸保全基本計画の見直し後に「海岸づくり会議」にて地域住民等の意見を聞き、事業内容に変更が生じる場合は、改めて再評価を実施する。 														

【別紙様式 4】

事業概要図

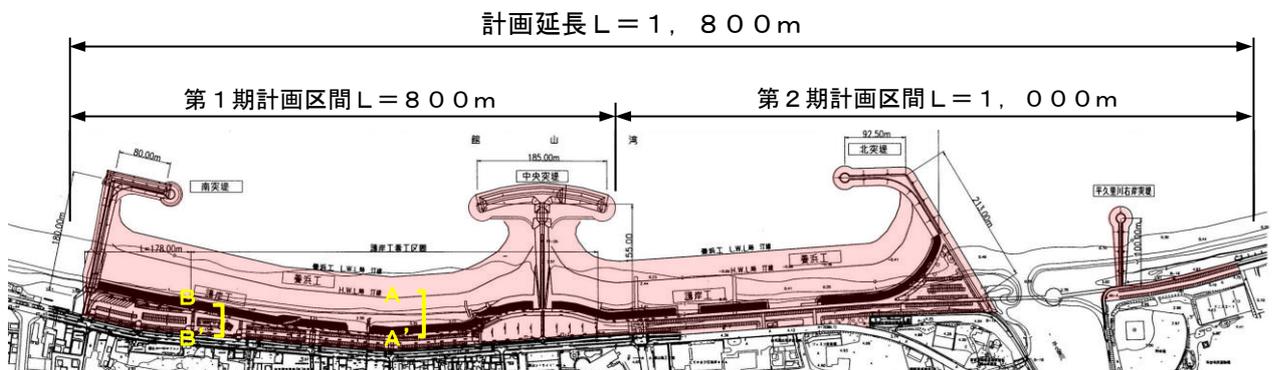
番号	5	事業名	防災・安全交付金 (館山港海岸館山地区 海岸環境整備事業)	路線又は箇所名等	館山港海岸 館山地区
----	---	-----	-------------------------------------	----------	------------

事業箇所図

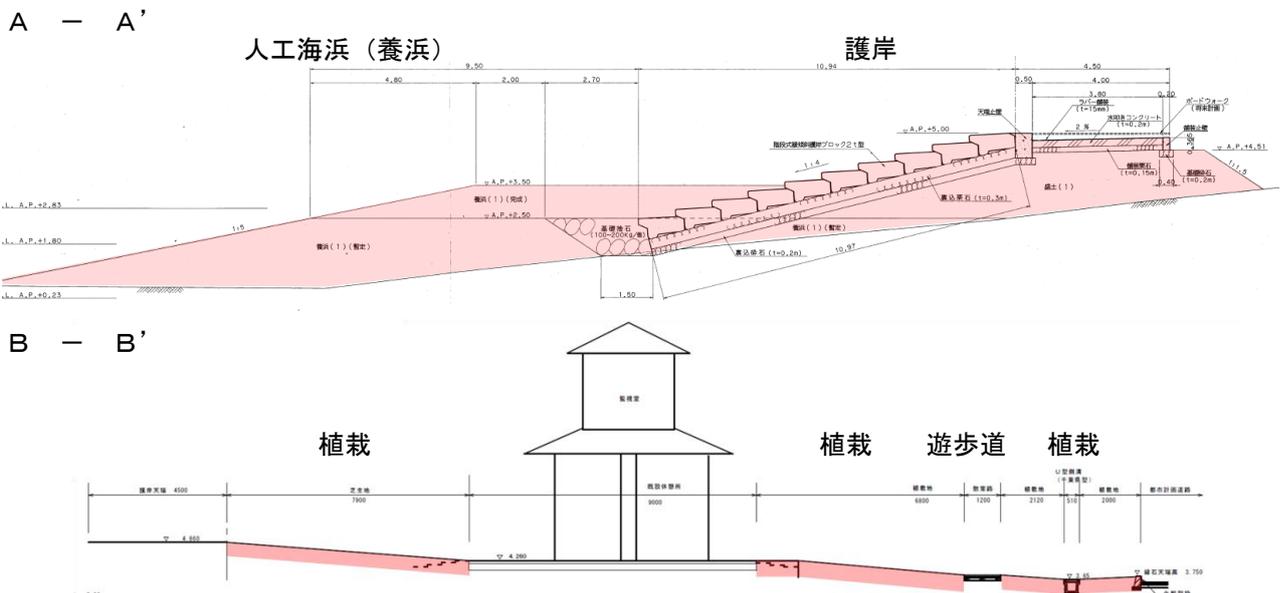


標準断面図・計画平面図

【平面図】



【標準断面図】



【別紙様式 5】

再々評価事業に関する調書

番号	5	事業名	防災・安全交付金事業 (館山港海岸館山地区 海岸環境整備事業)	路線又は箇所名等	館山港海岸 館山地区
事業化年度	平成 5 年度	用地着手年度	—	工事着手年度	平成 6 年度
【再評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成 29 年度	供用開始年度	平成 41 年度	対応方針	継続
B/C	4.8	総費用	91 億円	総便益	433 億円
再評価時の委員会の意見 及び当時の状況					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況	5 年後の想定進捗状況		
全体事業費	78 億円	22 億円 (28%)	57%		
うち用地補償費	—	—	—		
【再々評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	令和 4 年度	供用開始年度	令和 11 年度	対応方針	継続
B/C	8.6	総費用	111 億円	総便益	959 億円
現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況			
全体事業費	78 億円	22 億円 (28%)			
うち用地補償費	—	—			
再評価後の経過 及び 処理状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度までに第 1 期計画区間 (L=800m) における突堤、人工海浜 (養浜) が概成し、護岸、植栽、遊歩道が完成した。 東日本大震災を契機に平成 25 年に海岸保全基本計画が変更され、事業を計画する際の目安として、当海岸では、現計画の「高潮・波浪」を上回る「津波」に対する防護高が示された。 令和 2 年に国から新たな海岸保全基本方針が示されたことから、「平均海面水位の上昇量」や「潮位偏差・波浪の長期変化量」等の将来予測を考慮した防護高とするため、海岸保全基本計画の見直しを進めている。 計画の見直し後、地域住民等の意見を聞くため、「海岸づくり会議」の開催に向け、関係者との調整を進める。 				